

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会調査の基礎		必修 (社) 選択 (精.心)	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡辺 裕一	講師控室	kyoumu		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 福祉ニーズを把握するために社会調査の意義・方法・倫理を理解し、社会調査を実践できるようになることを目標とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 社会調査の基本的知識習得では、社会調査の意義と目的及び倫理を講義する。社会調査の方法では、社会調査の種類を講義する。社会調査の方法では、各自が選択した方法による社会調査を実践する。社会調査で収集したデータの分析に必要な統計法の概要を講義する。</p>				
学習上の助言	授業の前後での課題を着実にこなすことが必要となる。授業では、実践に時間を割くため予習である程度の内容を理解しておくことが望ましい。				
教科書	Minerva社会福祉士養成テキストブック 社会調査の基礎/編著：潮谷有二、杉澤秀博 他/ミネルヴァ書房				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会調査の意義・方法について、説明することができる。			HSU(2)、社(2)	
②	社会調査を行うに当たっての倫理を説明することができる。			HSU(1)、社(1)	
③	調査票作成の留意点について説明することができる。			社(2)	
④	回収された調査票を適切に処理方法、分析方法について説明することができる。			社(2)	
⑤	社会調査を適切に実施することができる。			HSU(5)、社(2)	
⑥	社会調査から得られたデータに基づいて、適切に結果を報告することができる。			HSU(4)、社(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、全体の流れ、評価の方法など)	同時双方向型授業	教科書の目次・概要を熟読する。		4
2	社会福祉と社会調査 (なぜ社会福祉実践に社会調査が必要か、「科学」とは何か、統計法の概要)、福祉にかかわる調査のための問いの設定と調査の流れ (調査の枠組み等)	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
3	調査の種類と全体の流れ、調査対象者の選定	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
4	測定の基本的考え方と尺度の要件	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
5	質問紙の作成、データの収集 (質問紙調査と質的調査)	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
6	量的データの整理と分析① (データ分析の準備、調査データの特徴)	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
7	量的データの整理と分析② (度数分布表と基本統計量、2変数間の関連、推定と検定)	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
8	質的データの収集、整理、分析 (インタビューデータの文字化、質的データの分析)	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
9	ニーズ調査、プログラム評価	同時双方向型授業	配付資料、講義範囲の教科書を予習する。		4
10	調査① (問いを立てる、基本仮説、作業仮説、モデル、質問項目作成)	同時双方向型授業	授業中に終わらなかった課題を次回までに終わらせる。		4
11	調査② (調査票の作成)	同時双方向型授業	授業中に終わらなかった課題を次回までに終わらせる。		4
12	調査③ (調査票の配布、回収、データの処理、入力)	同時双方向型授業	授業中に終わらなかった課題を次回までに終わらせる。		4
13	調査④ (入力されたデータの分析・考察)	同時双方向型授業	授業中に終わらなかった課題を次回までに終わらせる。		4
14	調査⑤ (報告書の書き方)	同時双方向型授業	レポートの作成 (期末試験時に提出)		4
15	まとめ (全体のふりかえり)	同時双方向型授業	試験範囲について見直し		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	20	0	0	20	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	15 回目に期末試験を実施する。期末試験では、①～④について、知識の観点から正誤を判断する問題及び記述式問題を出題する。また、授業内で実施した調査の問いの立て方や基本仮説、作業仮説、モデルの作成、質問項目の作成について、試験内で記述式問題の出題により確認する。				試験結果を掲示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①		授業で実施した調査について、報告書を作成し、定期試験時にレポートとして提出する。レポートでは、調査全体の流れについて、授業内で取り組んだものを活用しながら、自らの調査結果をまとめ、考察を加える。				授業時にコメントする。	
	②							
	③							
	④							
	⑤	✓						
	⑥	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①		講義中に理解を深めるために受講生間のディスカッションやワークを実施する。講義をただ受ける受動的な姿勢でなく、積極的に学ぶ姿勢であるかを評価する。				リアクションペーパーやワークで出た質問に応える。最終的な評価の結果をフィードバックする。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>Microsoft Teams をつかった同時双方向型授業を行う。          課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。          尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。          社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。</p> <p><b>教員の実務経験：</b>社会福祉士資格取得後、児童相談所一時保護所で児童指導員として 2 年、在宅介護支援センターでソーシャルワーカーとして 2 年、社会福祉協議会のボランティア・市民活動支援センターでボランティア・コーディネーターとして 1 年勤務した経験がある。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>本授業では、講義だけではなく、講義で学んだ内容をもとに、実際の調査を実施し、学びを深める演習を取り入れている。</p>								